

東日本大震災から 2 年が経ちました。全国の皆様からは、変わらぬご支援と温かい応援をいただき、誠にありがとうございます。(公財) 福島県国際交流協会では、震災当初より、当協会広報紙「ジャイロ」の震災復興版として「がんばろう 福島」を発行し、福島県の現状と復興に向けた国際交流・協力団体や外国出身県民の活動等を紹介しています。

※本紙の翻訳版は、当協会 HP からダウンロードできます。

## 福島の風物



**旧警戒区域 がれき撤去開始**  
(南相馬市小高区 2013.2.5 撮影)

南相馬市小高区は原発事故の影響で立ち入りが禁止される「警戒区域」に指定されていましたが、2012 年 4 月に一部解除され、今年の 2 月から警戒区域だった地域のがれきの撤去作業が始まりました。環境省はがれき処理を 2014 年 3 月までに終わらせたいとしています。



**留学生のための防災訓練**  
(いわき市 2013.2.17 撮影)

いわき市平消防署で行われた防災訓練に中国、ネパール、ミャンマー出身の留学生が参加し、119 番通報の仕方や災害が起きた時にはどのように対応するかなどの説明を受けました。また屋外では、実際に消火器を使つての消火訓練を行いました。



**花見山 2 年ぶり全面開放**  
(福島市 2013.3.7 取材)

2 月 1 日より花見山公園の一般開放が再開されました。桜の開花時期には散策コースが設定され、4 月 6 日からは福島駅からのシャトルバスが運行されるなど、福島市の観光の活性化が期待されます。

※写真は 2012 年 4 月撮影のものです。

## 福島に暮らす人々の声

### チャミラ カルナティレイクさん (会津若松市 スリランカ出身男性)

私が住んでいる会津地域では、東日本大震災の被害はあまりなかったものの、連絡手段がしばらく不通だったため不安でした。震災後、大学の先生や仲間とボランティア活動を行い、実際に津波被害の悲惨さを見て、過酷な中でもたくましくがんばっている日本人の姿が忘れられませんでした。日本人の強さや真摯さを尊く感じました。

震災を経験して、放射線の安全なレベルと今の福島県内のレベルの比較や、福島県に住んでいることにより健康にどのような影響があるのかなどの正しい情報を調べ、原発や放射線についてより強く意識するようになりました。現在は生活面での不安はなくなり、自分自身できちんと判断できています。

会津は私の「故郷」だと思っています。福島県はきっと復興します。私はその姿を見届けたいです。

### 菅野 隼人さん (福島市 男性)

震災を経験して、それまでためらっていたことや迷っていたことなどにも、まずは飛び込んでやってみようという意識に変わりました。

学生時代から外国出身者と接した上で日本の文化を紹介したいという考えがあり、続けていた語学勉強の他、日本語教師の養成講座を受け、現在は日本語指導のボランティアとして活動しています。日本語学習だけでなく、日常生活での悩みや苦しんでいることなどの学習者の生活面のサポートもできるようになりたいと思っています。

自分自身の経験が生かされることが多いので、体系的に学ぶことができる研修会や国際交流のイベントには積極的に参加しています。その中で、人間関係を築くのには時間がかかることに気づかされました。つながりを大事にし築いていくことで、自分の活動が国際交流を軸とした福島の復興の力になればと思います。

## 除染情報プラザのご案内



福島市にある「除染情報プラザ」では、県民の除染に対する疑問等に対応するとともに除染や放射線について理解を深めてもらうため、さまざまな情報提供を行っています。プラザ内の展示スペースでは、除染や放射線に関する基礎知識や各市町村の除染の進捗状況などを知ることができます。また、仮置き場の模型や資材などが展示されており、除染の効果や仮置き場の安全性を確認できます。アドバイザーが常駐しているので疑問点を尋ねることもできます。



## 外国出身者からの投稿



### タメリア・ブランドンさん (いわき市 アメリカ出身女性)

I've been living in Iwaki since September 2009. I was here before and after the disaster on March 11, 2011. I work at Iwaki Amity English School and I love my job, the teachers, and the children. It's truly a blessing working there. After the disaster, I went to Nasu, Tochigi for 3 weeks until the school reopened and my apartment was inspected for safety. I stayed with my church family from Global Mission Center and friends. It was hard because I was far away but great because I was with people who loved and cared for me and they cared for others.

I love Iwaki!! I hope that I can stay here for a long time. The people here are wonderful! Throughout my time here, I have met so many people from around the world. Because of the disaster I have gain a larger family.

(訳文) 私は震災前の 2009 年 9 月からいわき市内で暮らしています。英会話スクールの講師をしており、同僚や子どもたちが大好きで、何よりこの仕事が好きです。ここで働けることをありがたく思っています。震災後、英会話スクールの再開と住んでいたアパートの安全がわかるまでの 3 週間は、平キリスト福音教会(グローバル・ミッション・センター)の家族や友人たちと一緒に栃木県的那須へ一時避難しました。この期間、私を気にかけてくれる人たちと一緒にいることができ、ありがたく感じました。

私はいわきが大好きなので、ここで長く暮らしたいです。いわきの方々は素晴らしいです。いわきにいる間に様々な国のの人たちと出会うことができましたし、震災によって多くの家族(仲間)を得ることができました。



## 国際交流活動の紹介



### 外国出身者による写真展〜クール・ジャパン〜

郡山市国際交流協会主催の「外国出身者による写真展〜クール・ジャパン〜」が開催されました(2月9日〜28日)。日本で暮らす外国出身者が撮影した福島の季節折々の風景写真や日常での発見、旅先で美しいと感じたものや素敵だと思ったものなど、個性豊かな作品が展示されていました。写真展を訪れていた人たちは、外国出身者ならではの視点の作品に感心しながら見入っていました。



### ひな祭り&餅つき交流会

3月3日に国際ソブチミスト・マリンいわき主催による「ひな祭り&餅つき交流会」が行われ、いわき市在住の外国出身のお母さんとその子どもたちをはじめとして、大熊町などから避難している方々約70名が参加しました。ちらし寿司やお雑煮などのごちそうがふるまわれ、折雛作りや琴の演奏、餅つきなどの日本の伝統文化を体験し、参加者の皆さんはひな祭りを満喫していました。また、この日は名古屋市市のフィリピン出身者の団体「サギップ・ミグラント」より贈られたおもちゃや生活用品が参加者全員に配られました。



## 福島県内各地の環境放射能測定値(暫定値) (福島県 HP から抜粋)

福島県 HP では、県内各地の環境放射能測定値(暫定値)を日本語、英語、中国語で、県国際交流協会 HP では、それらに加え、タガログ語、韓国語、ポルトガル語で随時更新しています。

<http://www.worldvillage.org/>

単位: マイクロシーベルト/時間

日時	福島市	郡山市	白河市	会津若松市	南会津町	南相馬市	いわき市
(平常値)	0.04	0.04-0.06	0.04-0.05	0.04-0.05	0.02-0.04	0.05	0.05-0.06
2013.3.13 9:00	0.58	0.51	0.18	0.08	0.06	0.32	0.09
測定装置	可搬型 MP	可搬型 MP	可搬型 MP	可搬型 MP	可搬型 MP	可搬型 MP	固定型 MP
福島第一原発からの方向及び距離	北西 約 63km	西 約 58km	西南西 約 81km	西 約 98km	西南西 約 115km	北 約 24km	南南西 約 43km

※測定地点は、福島市は県北保健福祉事務所北側駐車場、郡山市は郡山合同庁舎南側駐車場、その他の市町は各合同庁舎の駐車場です。  
※平常値は、平成 21 年度放射線レベル調査結果です。



## お知らせ

### ○外国出身者のための生活相談窓口のご案内

当協会では、外国出身の方々のために外国語で生活相談に応じています。

●英語・中国語・日本語  
毎週火曜日～土曜日 9:00～17:00

●韓国語・タガログ語・ポルトガル語  
水曜日 13:00～17:00 ※第4・5水曜日は事前予約が必要

電話: 024-524-1316(専用) E-mail: ask@worldvillage.org(専用)

### 発行者

(公財) 福島県国際交流協会

〒960-8103 福島県福島市舟場町 2-1

☎024-524-1315 FAX 024-521-8308

E-mail info@worldvillage.org

URL <http://www.worldvillage.org>